

第2学年3組 図画工作科学学習指導案

指導者 猿谷 由美子

1. 日時・場所

平成19年12月5日(水) 第5校時 13:30~14:15 新館2F 2年3組

2. 題材名 「わいわい がやがや なかよし パーティー!!」(4時間扱い 立体に表す)

3. 活動の指針(活動を通して育てたい力)

B - ふくらむ思い

材料の特徴や表現方法・技法などとの出会いから、作り方や表し方について思いついたことを進んでためし、つくったり直したりする体験を通して、造形活動の楽しさや作りだす喜びを味わうことを大切にしていく。

4. 活動の指針と題材とのかかわり

ものをつくりだすことがとても好きな子どもたちで、休み時間なども手づくりのおもちゃであそぶ姿が見られる。お別れ会の時なども学習したことを生かした手づくりプレゼントを送るなどしていた。

本題材では、身の回りにあるさまざまな材料を用意して、パーティーというテーマで自分の思いを形にしていきたいと思う。材料を集めるときに、「・・・ために、この材料を使いたい。」「・・・はこんなふうに使えるかもしれない。」など意識をして活動をさせたい。

5. 今年度の研究の重点として

(1)「思いがふくらんでいく」ための具体的な手だて

導入の工夫

「パーティーをしよう」と、いうなげかけで、子供たちは、「ケーキ作っていい?」「チキンは何?」など次から次に、イメージしたものがあふれでてきた。パーティーをしたときのことをたくさん思い出させながら発表させていった。

材料とのかかわり

生活科の学習で、エコ活動をかねて、「お祭りの縁日」の売り物をつくる活動を行った。毎日飲んでいる牛乳のパックがケンダマになったり、トイレトペーパーのしんが笛になったりするなど、身近材を使って、自分の思いをふくらませながら、つくりたいものに変身させていく楽しさを体験している。

季節柄クリスマスパーティーのごちそうをイメージして、自分が食べたいものをつくり出すために材料を集めさせた。リンゴのクッションになるネットなど、素材は身近にあり意欲的に集める姿が見られる。

ヒントコーナーとして「こんなものできるよ。」と、作品を展示したりしながら、材料の選択や集めるポイントなどを押さえていった。

人とのかかわり

自分の作ったご馳走をどうやって紹介していこうかと考えたときに、出来上がったご馳走を前に感想を伝え合えたらどうかと考えた。作品を見て、自分のご馳走を食べる気分になって感想を伝えることができるような場面設定を活動の最後に考え、友だちとのかかわりあうこと認め合うことを大切にしたいと思った。

技法

食べ物をつくるので、見て何を作ったか分かるように、その物のもつ質感や見た目にこだわりをもたせたいと考えた。そのために、「何を作りたいのか」「何で何ができるのか」ということを、子どもたちと考えていった。考えたものは、技法コーナーに置き、材料集めのヒントにしていった。

- ・ 紙の使い方（もむ・縮める・まるめる・折る・たたむ）
- ・ 接着の方法（両面テープ・セロテープ・のり）
- ・ ハサミの使い方（ぎざっこ）

（２）「思いをふくらます創造的な技能」のための具体的な手だて

思いを膨らませるために、ヒントコーナーを子どもといっしょに充実させていった。自分がつくりたいものが、どんな材料をもとにしているのかをよく見ることによって、必要なものを集める活動につなげたいと考えた。

お便りで材料集めをお願いすると、何でもいいから持ってきたり、お願いしたものしか持ってこなかったりして材料があっても、作品に結びつかず残念なことが多い。

ねらいを持って材料を集めさせたり、材料を作りたいものに変身させるための発想を膨らませたりすることを支援していきたい。

6. 題材のねらい

- 自分のねらいをもって集めた材料を使って、さまざまな技法を組み合わせ、作ってみたいものを思いのまま表現する。

7. 題材の評価規準（・・・重点）

a、造形への関心・意欲・態度
身近材の持つそれぞれの特徴のおもしろさに気づき、進んで活動しようとしている。

b、発想や構想の能力
いろいろな身近材からパーティのご馳走を作り出すことを思いつくことができる。

c、創造的な技能
思いに合わせて材料や用具を選び、ふくらませたり、つなげたり飾りをつけ、試しながら活動することができる。

d、鑑賞の能力
自分が表したものや友だちが表現したものとかかわって、そのよさや楽しさを味わう

8. 準備

- （児童）身近材（箱・リンゴのクッション材・アルミホイル・トレーなど）・のり・はさみ・セロテープ・モール・リボン・セロハン・包装紙・毛糸・わた・クレヨン・型ぬき
（教師）色画用紙・再生紙の包装紙・茶封筒・両面テープ・ハサミ（ぎざっこ）・コンテ・紙粘土

9. 指導と評価計画（4時間扱い）

時間	活動内容 予想される子どもの主な活動	教師の働きかけ 【評価規準・・・評価方法】
<p>一次</p> <p>4 5 分</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">みんなで、パーティーをしよう</p> <p>パーティーに参加する自分を作る。 嬉しそうにパーティーをする自分を想像して作る。 自分の顔や手が作れない。</p>	<p>色画用紙で食事をする自分を作ることを知らせる。 顔などの大きさに紙を切っておいたものを用意する。 手の作成は難しいのでパーツを用意する。 鑑賞の時にスムーズに会話が進む手だてとして活用する。</p> <p>【関】・・・発言・つぶやき・活動の様子 【技】・・・活動の様子</p>
<p>二次</p> <p>1 2 0 分</p> <p>本時</p> <p>三次</p> <p>1 5 分</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">わいわい がやがや なかよし パーティー！！</p> <p>パーティーのごちそうを作る。 材料を自分の作りたい物に変身させていく。</p> <p>何を作ったらいいのか分からない。</p> <p>パーティーの準備をする。 前時に作製した自分をセットする。 できたご馳走をお皿に盛りつける。 準備した容器に盛りつけをする。 パーティーをする。 友だちの作品を見合う。 自分の工夫したところやよさを伝える。 友だちの作品のよさを認めたり、見つけたりする。 友だちの表現の良さや、工夫しているところを伝える。 何を言ったらいいのか分からない。</p>	<p>集めた材料で自分が作りたいものを、素材のもつよさを生かして作らせる。 材料切ったり、接着したりしながら、作りたい食べ物に近づけさせる。 発想が浮かばない子は、ヒントコーナーを見せて作り方などをアドバイスする。</p> <p>一次で作った自分の前にご馳走を並べお互いに相手のご馳走を食べる活動を設定し、工夫しているところなどに気づかせ話し合わせる。</p> <p>【鑑】・・・つぶやき・会話・表情 どんな材料を使って、どのように作ったかを伝えさせる。</p> <p>よくできているところや、おいしそうに思うところを伝えればよいことを知らせる。</p>

10. 本時の活動と指導

(1) 目標 材料の特徴をいかして、自分の作りたいものをつくる。

つくったものを友だちに紹介しながらお互いの作品のよさに気づく。

(2) 展開

<p>子どもの主な活動内容</p> <p>予想される子どもの主な活動</p>	<p>教師の働きかけ</p> <p>【評価規準】・・・評価方法</p>
<p>わいわい がやがや なかよし パーティー！！</p>	
<p>本時の活動を確認する。 材料を自分の作りたい物に変身させていく。 食べたいものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすしにしよう。 ・チキンを作りたい。 ・ケーキを完成させよう。 ・クッキーやアメを作ろう。 ・ドーナツもできるよ。 ・スパゲッティができたよ。 ・ピザのトッピング何にしようかな。 <p>うまくのりが見つからない。 どうやってつくればいいのか分からない。 つくるものがわからない。</p> <p>できたごちそうをお皿に盛りつける。 盛りつけをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お皿に盛りつけよう。 	<p>紙とパッキング材を組み合わせでお寿司に似せていけることなど、ヒントコーナーを参考にすることを伝える。</p> <p>いろいろな紙の材質に注目させて、効果的に活用していくことを声かける。</p> <p>作りながら、自分の思いを膨らませる。</p> <p>型抜き・クレヨン・コンテなどの効果的な使い方を伝える。</p> <p>その子の思いに寄り添い、接着の方法を伝える。</p> <p>ヒントコーナーに行き、作りたいものの材料をいっしょに考え支援する。</p> <p>みんなで考えたご馳走を黒板に掲示しておく。</p> <p>【発】身近な材料を工夫して、自分の作りたい物に変身させようとしている。 (活動の様子・表情・つぶやき)</p> <p>【技】紙を丸めたり、縮めたり揉んだりしながら、材質のよさに関わりをもとうとしている。 (活動の様子・表情・作品)</p> <p>盛りつけを考えながら作品の量にも気づかせる。</p> <p>おいしそうな盛りつけ方をいっしょに考える。</p>

- ・ランチボックスに入れよう。
- ・ランチョマットを敷こう。
- ・飲み物もつけよう。
- ・おいしそうに飾ろう。

うまく盛りつけることができない。

パーティーの準備をする。

盛りつけたごちそうを並べる。

パーティーをする。

盛りつけたごちそうを友だちと一緒に食べる。

ごちそうを作ったときの工夫などを伝える。

ごちそうの感想を伝え合う。

思っていることをうまく伝えられない。

本時の活動をふり返る。

友だちの作品のよさに触れ、自分の思いを伝える。

箱などに入れたり、まとめたりする方法を支援する。

一次で作った自分の前にご馳走を並べお互いに相手のご馳走を食べる活動を設定させる。

友だちといっしょに「食べる」という活動を通して見あったり、作品のよさに気づいたりする。

どんな材料を使って、どのように作ったかを伝えさせる。

【鑑】テーブルに並べたごちそうの出来具合について感想を伝え合いながら、楽しそうに会話し、作品のよさを味わうことができる。
(活動の様子・表情・会話・つぶやき)